



## NHK 詳細分析

2026-05-09\_radio\_news\_0700

放送: 2026-05-09 | 分析日: 2026-05-13 09:49

Version 2.8-detail | Universal 2.8-detail | Konverter 3.4 (2026-05-20) | 基準: 放送法 第4条

総合スコア

2.9/10

軽微な不均衡

0 = 均衡、10 = 著しく偏向/操作的

## 政治スペクトラム

チャペルヒル専門家調査 (CHES) 2024に基づく分類

チャペルヒル専門家調査 (CHES 2024) は、31か国609人の政治学者による 学術調査です。各政党は0 (極左) から 10 (極右) のスケールで評価されます。

政党	JCP	CDP	DPP	Komeito	LDP	JIP
CHES	1.50	3.50	4.80	5.20	7.00	7.80
スペクトラム	左派	左派	中道	中道	右派	右派

全体的な傾向は0-10スケールで表示されます (0 = 強い左派優遇、5 = バランス、10 = 強い右派優遇)。計算は左派・右派政党の平均優遇度の差に基づきます (CHES 2024によるグループ分け)。

傾向 (左 - 右)

5.0 / 10

均衡

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

← 左

右 →

出典: Chapel Hill Expert Survey 2024 — [chesdata.eu](https://chesdata.eu) | [Jolly et al., Electoral Studies, 2022](https://doi.org/10.1017/XPS.2022.1) | 関値: [Pew Research Center](https://www.pewresearch.org/)

このセクションは政治的文脈を提供し、総合スコアには含まれません。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 政治的景観

現在の日本政府は自由民主党（LDP）と公明党（Komeito）による連立政権である。2024年10月27日の衆院選でLDPは191議席（大幅減）、公明党は24議席を獲得し、過半数を割り込んだ。主要野党は立憲民主党（CDP、148議席）、日本維新の会（Ishin、38議席）、国民民主党（DPP、28議席）、れいわ新選組（9議席）、日本共産党（JCP、8議席）である。

政党	左右スコア (0-10)	議席数	政府・野党	主要政策
日本共産党 (JCP)	1.5	8	野党	憲法9条堅持、即時原発廃止、反軍拡
社民党 (SDP)	2.5	1	野党	平和主義、護憲、脱原発
れいわ新選組	2.5	9	野党	消費税廃止、反軍拡、MMT経済
立憲民主党 (CDP)	3.5	148	野党	護憲、再生可能エネルギー、夫婦別姓
公明党	5.0	24	与党	平和外交、社会福祉、連立ブレーキ役
国民民主党 (DPP)	5.5	28	中間	消費税減税、実用的原発活用
自由民主党 (LDP)	7.0	191	与党	憲法改正、防衛費増額、原発再稼働
日本維新	7.0	38	野党	規制緩和、行政改革、改憲

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung**  
**Association suisse pour une information équilibrée**  
**Associazione svizzera per un reporting equilibrato**

の会 ( Ishin )				
参政 党	9.0	3	野党	超国家主義、反グローバリズム

Pew閾値：4.5未満＝左派、4.5～5.5＝中道、5.5超＝右派

日本の政治における主要な対立軸は、憲法改正（特に第9条）をめぐる護憲派と改憲派の対立、原子力エネルギー政策における即時廃止派と再稼働推進派の対立、経済政策における再分配重視派と成長・規制緩和重視派の対立、そして安全保障政策における防衛費増額・反撃能力保有をめぐる対立である。2024年衆院選でLDPが過半数を失ったことにより、政策立案における連立・協議の重要性が増している。

NHKは放送法に基づく公共放送機関であり、放送法第4条により政治的公平、報道の正確性、多角的な論点提示が義務付けられている。NHKの経営委員会委員12名は内閣総理大臣が任命（国会同意）するため、安倍政権以降「政府寄り」との批判が継続している。RSF報道自由度ランキングでは日本は2024年に70位であり、記者クラブ制度が情報アクセスの構造的偏りを生んでいる。

- ・ タイトル：NHKニュース（定時ニュース番組、推定）
- ・ 日付（ファイル名より）：2025年5月8日（放送内容の時制より推定）
- ・ 長さ（トランスクリプトより推定）：約14分（00:00:00～00:14:21）
- ・ 司会者・レポーター：トランスクリプトに個人名の明示なし（ナレーション形式）
- ・ インタビュー対象者：直接インタビューなし。引用された人物は以下の通り。

人物	役職	政党・所属	政治的スペクトル
トランプ大統領	米国大統領	共和党	右派ポピュリスト
ウシャコフ補佐官	ロシア大統領府補佐官	クレムリン	権威主義的右派
ゼレンスキー大統領	ウクライナ大統領	国民の僕	中道～中道右派
ルビオ国務長官	米国務長官	共和党	右派
バガイ報道官	イラン外務省報道官	イラン政府	神権政治的保守
若山哲夫容疑者	バス運転手（被疑者）	該当なし	該当なし

本放送は、①ロシア・ウクライナ停戦発表（トランプ提案）、②クルーズ船ハンタウイルス集団感染疑い、③福島県高速道路バス事故、④トランプ大統領の中国訪問予定、⑤米イラン交渉・軍事衝突、⑥卓球世界選手権（日本女子準決勝進出）という複数の国際・国内ニュースを短時間で伝える定時ニュース形式の放送である。

本放送は2025年5月8日（推定）の定時ニュースであり、ロシアの戦勝記念日（5月9日）を前にした停戦発表という外交的に極めて重要な局面を扱っている。トランプ政権による対ロシア・対中国・対イランの同時並行外交が展開される中、日本の公共放送としてこれらの国際情勢をどのように伝えるかは放送法第4条の観点から重要である。米中首脳会談の予定、米イラン軍事衝突の継続、ハンタウイルスの国際的拡散という複数の危機が同時進行しており、各トピックへの報道時間配分と情報の深度が問われる。

[A] ロシアの停戦提案の真意と戦略的背景（戦勝記念日パレード保護目的の可能性）

[B] ウクライナ側の停戦受け入れの条件と留保事項

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)  
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung**  
**Association suisse pour une information équilibrée**  
**Associazione svizzera per un reporting equilibrato**

- [C] 欧州諸国・NATOの停戦提案への反応と懸念
- [D] ハンタウイルスの感染経路・致死率・過去の流行事例との比較
- [E] 福島バス事故における道路運送法・白タク規制の法的問題点
- [F] トランプ中国訪問における日本の国益への影響（台湾問題、日米同盟）
- [G] 米イラン軍事衝突が中東・エネルギー市場に与える影響
- [H] 停戦合意の検証可能性と過去の停戦違反事例
- [I] 日本政府の各国際問題に対する公式立場
- [J] 独立した専門家・研究者による各トピックの分析

[A] 部分的に言及

タイムスタンプ：00:00:28 — 引用：「5月9日はロシアにとって第二次世界大戦で旧ソビエトがナチスドイツに勝利したことを祝う戦勝記念日で」 — 評価：戦勝記念日との関連は示されているが、停戦提案がパレード保護を主目的とする可能性への批判的分析は欠如している。

[B] 部分的に言及

タイムスタンプ：00:02:06 — 引用：「ゼレンスキー大統領はロシアの首都モスクワ中心部の赤の広場で9日に軍事パレードが実施されている間は攻撃対象から外すとする大統領令に署名しました」 — 評価：ゼレンスキーの行動は伝えられているが、ウクライナ側の条件・留保・国内世論は報道されていない。

[C] 完全に省略

タイムスタンプ：該当なし — 引用：なし — 評価：欧州・NATOの反応は一切報道されておらず、重要な多角的視点が欠落している。

[D] 部分的に言及

タイムスタンプ：00:03:44 — 引用：「感染が増える可能性はあるものの公衆衛生上のリスクは低いとしています」 — 評価：WHOの見解のみが引用され、独立した感染症専門家の分析や過去の流行との比較は欠如している。

[E] 省略

タイムスタンプ：00:04:03～00:05:43 — 引用：「レンタカーを依頼した事実はないと否定し」 — 評価：道路運送法上の白タク問題・旅客運送の法的規制という本質的な法的論点が報道されていない。

[F] 省略

タイムスタンプ：00:05:52～00:07:25 — 引用：「経済貿易の関係や台湾をめぐる問題などのほか」 — 評価：日本の国益への影響、日米同盟への含意、日本政府の立場が全く言及されていない。

[G] 省略

タイムスタンプ：00:07:29～00:09:47 — 引用：「オマーン湾でイラン船隻のタンカー2隻を攻撃し」 — 評価：エネルギー市場・ホルムズ海峡の重要性・日本のエネルギー安全保障への影響が報道されていない。

[H] 省略

タイムスタンプ：00:02:22 — 引用：「双方が攻撃を停止し実際に停戦が実施されました」 — 評価：過去の停戦合意の遵守状況・検証メカニズムへの言及が全くない。

[I] 省略

タイムスタンプ：全編 — 引用：なし — 評価：日本政府の各国際問題に対する公式立場が一切報道されていない。

[J] 完全に省略

タイムスタンプ：全編 — 引用：なし — 評価：独立した専門家・研究者・アナリストによる分析が一切含まれていない。

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



理由：本放送は定時ニュースの速報形式であり、各トピックへの深度ある分析は構造的に困難である。しかし、10の必要視点のうち完全に扱われたものは皆無であり、部分的言及が3件、完全省略が7件である。特に独立専門家の分析、欧州・NATOの反応、日本政府の立場、法的論点が全て省略されており、放送法第4条が求める「多角的な論点提示」の観点から著しく不十分である。

- ・ 国際法・停戦合意専門家：停戦の法的拘束力・検証可能性・過去の事例との比較を提供できた
- ・ 欧州外交官・NATO関係者：停戦提案への欧州側の懸念と評価を提供できた
- ・ 感染症専門家（独立系）：ハンタウイルスの疫学的リスク評価を提供できた
- ・ 道路運送法専門家・弁護士：バス事故における白タク問題の法的論点を提供できた
- ・ 日本政府外務省担当者：米中首脳会談・米イラン情勢に対する日本の立場を提供できた
- ・ エネルギー安全保障専門家：米イラン軍事衝突が日本のエネルギー供給に与える影響を提供できた
- ・ ウクライナ・ロシア研究者：停戦提案の地政学的含意を分析できた
- ・ 中国外交専門家：トランプ訪中の戦略的意味と日本への影響を分析できた

## ハードファクト — 定量的かつ科学的に検証可能な9つの手法

### 1. 専門家の選定

5/10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

定義：誰が専門家として発言しているか？

専門家1：WHO（世界保健機関）

タイムスタンプ：00:02:54

発言：「WHOはさらなる感染拡大を防ぐために必要だとして各国の政府や保健当局などと連携しながら乗客の追跡調査を強化しています」

位置づけ：国連機関として権威ある情報源であるが、直接引用ではなくNHKによる要約である。

欠落する反論：独立した感染症専門家・疫学者の見解が欠如している。

情報源の深度確認：

(a) 資金調達：WHO加盟国の分担金および任意拠出金。日本は主要拠出国の一つ。利益相反：パンデミック対応における政治的圧力の可能性。

(b) 委任事項：公衆衛生上のリスク評価はWHOの中核的任務であり、委任事項との適合性は高い。

(c) 信頼性マトリクス（情報源信号機、6次元、各-2～+2）：

- D1 利益相反：+1 — 加盟国への政治的配慮の可能性はあるが、公衆衛生機関として基本的に中立
- D2 個人的リスク：+1 — 機関としての評判リスクあり
- D3 専門能力：+2 — 感染症・公衆衛生は中核的専門領域
- D4 見解の一貫性：+1 — 過去の感染症対応と一貫した姿勢
- D5 感情化対データ：+1 — データに基づく報告
- D6 情報源レベル：0 — 二次情報（NHKによる要約）

・ 合計：+6 → 情報源信号機：緑

(c) 専門能力：中立的な機関として枠組みされており、構造的偏向は低い。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein** für ausgewogene Berichterstattung  
**Association suisse** pour une information équilibrée  
**Associazione svizzera** per un reporting equilibrato

専門家2：ルビオ米国務長官

タイムスタンプ：00:07:42

発言：「今日イランから回答が来ることを期待している」「本格的な交渉プロセスへとつながるものになることを期待していると述べました」

位置づけ：米国政府の公式立場を代表する政治家であり、中立的専門家ではない。

欠落する反論：イラン側の立場、独立した中東専門家の分析が欠如している。

情報源の深度確認：

(a) 資金調達：米国政府。明確な政策的利益相反あり。

(b) 委任事項：米国の外交政策推進が任務であり、中立的評価とは構造的に相容れない。

(c) 信頼性マトリクス：

D1 利益相反：-2 — 米国の政策立場を代表する政治家

D2 個人的リスク：0 — 政治的立場からの発言

D3 専門能力：+1 — 外交経験あり

D4 見解の一貫性：0 — 政策変更に伴う立場変化の可能性

D5 感情化対データ：0 — 期待表明という感情的要素あり

D6 情報源レベル：+2 — 一次情報（直接発言）

• 合計：+1 → 情報源信号機：黄

**(c) 専門能力:** 政治家の発言として適切に文脈化されているが、独立した専門家の分析が補完されていない。

欠落している専門家グループ：

- 国際法・停戦合意専門家（停戦の法的拘束力評価のため）
- 独立した感染症疫学者（ハンタウイルスリスク評価のため）
- 中東・イラン研究者（米イラン交渉の分析のため）

まとめ（マトリクス結果）：

- WHO：緑（+6） — 専門領域内での引用として適切
- ルビオ米務長官：黄（+1） — 政治家として適切に文脈化されているが独立専門家の補完が必要
- 全体として独立した専門家・研究者が一切登場しないことが最大の問題である

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 2. 情報源の選定

4/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

一次情報源のない主張 = ペナルティポイント (噂チェック)

定義：どの情報源が引用されているか？多様性と独立性はあるか？

情報源 1：トランプ大統領のSNS投稿

タイムスタンプ：00:00:49 — 発言：「SNSでロシアとウクライナが9日から3日間停戦すると発表しました」

(a) 資金調達と運営主体：米国政府・共和党政権。明確な政治的利益相反あり。

(b) 構造的利益相反：トランプ政権の外交的成果として停戦を提示する動機がある。

(c) 欠落する対立情報源：欧州外交官、独立した国際関係専門家の見解が欠如。

情報源 2：ロシア大統領府ウシャコフ補佐官声明

タイムスタンプ：00:01:25 — 発言：「プーチン大統領の指示によりトランプ大統領が提案した捕虜の交換に向けた停戦についてロシア側として受け入れ可能だとする声明を出しました」

(a) 資金調達と運営主体：ロシア連邦政府。明確な政治的利益相反あり。

(b) 構造的利益相反：ロシアの戦略的利益（戦勝記念日パレード保護）を反映した声明である可能性。

(c) 欠落する対立情報源：独立したロシア研究者・ウクライナ側の詳細な立場が欠如。

情報源 3：イランのタスニム通信

タイムスタンプ：00:09:17 — 発言：「イランの革命防衛隊とつながりのあるタスニム通信は」

(a) 資金調達と運営主体：イラン革命防衛隊との関連が明示されている。

(b) 構造的利益相反：イラン政府の立場を反映した報道機関。

(c) 欠落する対立情報源：独立した中東専門家・国際機関の評価が欠如。

まとめ：本放送の情報源は各国政府の公式発表・政府系メディアに偏っており、独立した専門家・研究者・国際機関（WHO以外）の情報源が欠如している。これは放送法第4条が求める多角的な論点提示の観点から問題がある。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



### 3. 発言時間配分

2/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：異なる立場間での発言時間配分。

発言時間の推定：

- ロシア・ウクライナ停戦関連：約2分27秒（約17%）
- ハンタウイルス関連：約1分17秒（約9%）
- 福島バス事故関連：約1分33秒（約11%）
- トランプ訪中関連：約1分26秒（約10%）
- 米イラン情勢関連：約2分18秒（約16%）
- 卓球世界選手権関連：約4分（約28%）
- その他・移行：約1分（約7%）

まとめ：卓球世界選手権に全体の約28%の時間が割かれており、米イラン軍事衝突（16%）やロシア・ウクライナ停戦（17%）と比較して、スポーツニュースへの時間配分が突出している。ただし、これは定時ニュースの通常の構成であり、重大な偏向とは言えない。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



#### 4. 省略 (選択的省略)

6/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：関連性があるにもかかわらず何が示されていないか？ (ステップ0を参照)

省略1：

文脈：欧州・NATOの停戦提案への反応

関連タイムスタンプ：00:00:00～00:02:27

影響：欧州諸国はロシアの停戦提案に対して懐疑的であり、ウクライナへの圧力として批判していた。この視点の省略により、停戦が国際的に歓迎されているという誤った印象が生まれる。

省略2：

文脈：トランプ訪中が日本の国益に与える影響

関連タイムスタンプ：00:05:52～00:07:25

影響：台湾問題・日米同盟・日中関係という日本の視聴者にとって最も重要な側面が全く報道されておらず、日本の公共放送としての役割を果たしていない。

省略3：

文脈：米イラン軍事衝突が日本のエネルギー安全保障に与える影響

関連タイムスタンプ：00:07:29～00:09:47

影響：ホルムズ海峡は日本の石油輸入の主要ルートであり、軍事衝突の日本への直接的影響が全く報道されていない。

まとめ：本放送は速報形式の制約があるものの、日本の視聴者にとって最も重要な「日本への影響」という視点が複数のトピックにわたって系統的に省略されており、NHKの公共放送としての役割に疑問を呈する。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 6. 連座による信用失墜（連座制）

1/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：否定的な集団・思想との関連付けによる信用失墜。

関連付け 1：

タイムスタンプ：00:09:17

引用：「イランの革命防衛隊とつながりのあるタスニム通信は」

操作：タスニム通信を「革命防衛隊とつながりのある」と明示することで、その報道の信頼性を事前に低下させている。

影響：視聴者はタスニム通信の報道を先入観を持って受け取る可能性がある。

各人物の評価（「陰謀論者」等として枠組みされた人物）：

本放送において「陰謀論者」「陰謀イデオログ」等として枠組みされた人物は存在しない。

まとめ：タスニム通信の「革命防衛隊とのつながり」という明示は事実に基づく情報開示であり、重大な連座による信用失墜とは言えない。ただし、同様の文脈でNHKが米国政府系メディアを「米国政府とつながりのある」と表現しないという非対称性の可能性は指摘できる。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 7. タイミング

3/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：情報の戦略的配置（冒頭・中間・末尾）。

所見 1：

位置：00:00:00（冒頭）

内容：「アメリカのトランプ大統領は8日 SNSでロシアとウクライナが今月9日から3日間停戦すると発表しました」

タイミング効果：放送の冒頭にトランプ大統領の発表を配置することで、停戦の主導権がトランプにあるという印象を最初に確立している。ロシアの先行する停戦提案（00:00:28で後述）よりもトランプの発表が先に提示されることで、時系列の印象が操作される可能性がある。

所見 2：

位置：00:09:50（末尾直前）

内容：卓球世界選手権の報道

タイミング効果：米イラン軍事衝突という重大なニュースの直後にスポーツニュースを配置することで、軍事衝突の重大性が相対化される。

まとめ：冒頭のトランプ発表の配置はロシアの先行提案よりも米国の主導性を強調する効果を持ち、軽度のタイミング操作として評価される。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 8. 選択的憤慨

1/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

憤慨 = バイアス。選択的憤慨は所見を強化する。スコア = 憤慨度 (0-5) + 選択性 (0-5)

定義：特定の立場に対する憤慨はあるが、同等の他の立場には見られない。

方法論的原則 (v2.2)：各評価の前に引き金となる出来事を記録すること。反応は、他の立場における同等の引き金が同様の反応を生まなかった場合にのみ選択的と評価できる。

所見 1：

タイムスタンプ：00:00:40

引き金となる出来事：ロシアがキーウへの大規模ミサイル攻撃による報復を示唆したこと

反応：「キーウに大規模なミサイル攻撃で報復するとしていました」— 中立的なナレーション、感情的強調なし

比較：米軍によるイランタンカー攻撃 (00:08:55) — 同様に中立的なナレーション

非対称性：確認不可能 — 両事例において同等の中立的語調が使用されており、選択的憤慨は認められない。

まとめ：本放送はナレーション形式であり、全体的に感情的な語調の変化は認められない。選択的憤慨の証拠は確認されなかった。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein** für ausgewogene Berichterstattung  
**Association suisse** pour une information équilibrée  
**Associazione svizzera** per un reporting equilibrato

## 9. 網羅性

7/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

カバーされた視点の割合

反転: 元の値は網羅性を測定 (高い = 良い)。偏差として表示 (高い = 大きなギャップ)。

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## ソフトファクト — 6つの定性的手法

### 10. フレーミング (枠組み設定)

3/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：テーマはどのように基本的に枠組みされているか？

所見 1：

タイムスタンプ：00:01:08

引用：「この要請は私が直接を行ったものでプーチン大統領とゼレンスキー大統領が応じたことに深く感謝すると自らの成果であることを強調しました」

操作：トランプ大統領の自己評価をそのまま報道し、停戦提案の真の動機（戦勝記念日パレード保護）や批判的評価を加えていない。

問題点：視聴者はトランプの外交的成果として停戦を認識しやすくなり、ロシアの戦略的利益という側面が見えにくくなる。

所見 2：

タイムスタンプ：00:02:22

引用：「双方が攻撃を停止し実際に停戦が実施されました」

操作：停戦の実現を既成事実として提示しているが、その後の継続性・検証可能性への言及がない。

問題点：視聴者に停戦が安定的に実現したという誤った印象を与える可能性がある。

所見 3：

タイムスタンプ：00:08:47

引用：「イランの港を出入りする船舶への封鎖措置の一環として」

操作：米軍の行動を「封鎖措置」という中立的・行政的な言葉で枠組みし、軍事攻撃の性質を和らげている。

問題点：「封鎖」という言葉は国際法上の重大な行為であるが、その法的含意が説明されていない。

まとめ：本放送のフレーミングは概ね事実報告型であり、極端な操作は見られないが、トランプの自己評価の無批判な引用と停戦の既成事実化という二点において軽度の枠組み操作が認められる。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 11. 言葉の選択と用語

2/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：どのような言語が使用されているか？どのような含意が設定されているか？

所見 1：

タイムスタンプ：00:00:28

引用：「ロシアにとって第二次世界大戦で旧ソビエトがナチスドイツに勝利したことを祝う戦勝記念日」

操作：「ナチスドイツ」という表現は歴史的に正確であるが、現在のロシアがこの記念日をウクライナ侵攻の正当化に利用している文脈が省略されている。

問題点：中立的な歴史記述として提示されているが、ロシアの現在の政治的利用という文脈が欠落している。中立的代替表現：「ロシアが対独戦勝を記念する5月9日の式典」と文脈を補足すべきであった。

所見 2：

タイムスタンプ：00:08:47

引用：「封鎖措置の一環として」

操作：軍事攻撃を「措置」という行政的・中立的な言葉で表現している。

問題点：「攻撃」と「措置」では視聴者の受け取り方が大きく異なる。中立的代替表現：「軍事行動の一環として」が適切。

まとめ：言葉の選択における操作は軽微であり、全体的には事実報告的な語彙が使用されている。ただし「封鎖措置」という表現は軍事行動の性質を和らげる効果を持つ。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 12. 司会者の行動

1/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：質問・割り込み・共感表明における非対称性。

方法論的原則 (v2.2)：各評価の前に引き金となる出来事を記録すること。介入は、他のゲストにおける同等の引き金が同様の介入を生まなかった場合にのみ非対称と評価できる。

所見 1：

タイムスタンプ：全編

引き金となる出来事：本放送はナレーション形式の定時ニュースであり、スタジオゲストや生インタビューが存在しない。

引用（司会者）：該当なし（ナレーション形式）

比較：他のゲストとの比較対象なし

非対称性：確認不可能 — ナレーション形式のため、司会者の介入・質問・共感表明という概念が適用されない。

まとめ：本放送はナレーション形式の定時ニュースであり、スタジオゲストが存在しないため、司会者行動における非対称性の評価は構造的に適用不可能である。スコア1は、ナレーターの話調における軽微な差異（後述）を反映している。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



### 13. 質問の非対称性

1/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：異なる人物への質問の硬軟の違い。

非対称性 1 :

本放送はナレーション形式であり、直接インタビューが存在しないため、質問の非対称性という概念は構造的に適用不可能である。ただし、各国政府の発言の引用方法における軽微な差異を記録する。

米国側 (00:07:47) : 「今日イランから回答が来ることを期待している」 — 期待表明として中立的に引用

イラン側 (00:08:16) : 「交渉については現在検討中であり」 — 同様に中立的に引用

比較：両国の発言は概ね対称的に引用されており、明確な非対称性は認められない。

まとめ：ナレーション形式のため質問の非対称性は評価不可能であり、各国政府発言の引用方法においても重大な非対称性は認められない。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



14. 偽りの均衡 (偽りの均衡)

2/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：実際の不均衡にもかかわらず人工的な均衡を作り出すこと。

所見 1 :

タイムスタンプ : 00:08:10~00:09:38

構成：「アメリカ中央軍は...タンカー2隻を攻撃し航行不能にしたと発表しました」と「タスニム通信は...我が国の海軍が反撃した」という両論併記

分析：米国の公式発表とイランの革命防衛隊系メディアの報道を同等の情報源として並列提示している。両者の信頼性・独立性の差異が明示されていないため、表面的な均衡が実質的な情報の歪みを生む可能性がある。ただし、タスニム通信については「革命防衛隊とつながりのある」という注記があり、完全な偽りの均衡とは言えない。

まとめ：米国公式発表とイラン政府系メディアの並列提示は軽度の偽りの均衡を構成するが、タスニム通信への注記により完全な偽りの均衡は回避されている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 15. アジェンダ設定

4/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：何が正常・自明とされているか？何がアジェンダに上らないか？

所見 1：

設定されたアジェンダ要素：停戦はトランプの外交的成果として自明視されている

タイムスタンプ：00:01:08 — 根拠：「この要請は私が直接を行ったものでプーチン大統領とゼレンスキー大統領が応じたことに深く感謝すると自らの成果であることを強調しました」

代替アジェンダ：ロシアの戦略的利益（パレード保護）、欧州の懸念、停戦の持続可能性という視点がアジェンダから外れている。

所見 2：

設定されたアジェンダ要素：米イラン交渉は「回答待ち」という受動的枠組みで提示されている

タイムスタンプ：00:09:41 — 根拠：「イランがアメリカ側の見通し通りに近く回答するのが注目されています」

代替アジェンダ：イランの主権・核開発の文脈・地域的安全保障という視点がアジェンダから外れている。

所見 3：

設定されたアジェンダ要素：日本の国際問題への関与・影響が自明視されていない（＝アジェンダに上らない）

タイムスタンプ：全編 — 根拠：日本政府の立場・日本への影響への言及が全編を通じて皆無

代替アジェンダ：日本の公共放送として、各国際問題が日本に与える影響を報道することが本来のアジェンダであるべきである。

まとめ：本放送のアジェンダ設定における最大の問題は、日本の公共放送でありながら「日本への影響」という視点が全編を通じてアジェンダに上らないことである。これは放送法第4条の精神に反する構造的な問題である。

## ステップ 2 — 総合評価

### 個別スコア一覧

番号	基準	スコア	主要所見 (1文)
1	フレーミング	3	トランプの自己評価の無批判な引用と停戦の既成事実化に軽度の枠組み操作が認められる
2	言葉の選択	2	「封鎖措置」という表現が軍事行動の性質を和らげる効果を持つ
3	専門家の選定	5	独立した専門家・研究者が一切登場せず、政府発表のみに依存している
4	省略	6	日本への影響・欧州の反応・法的論点が系統的に省略されている
5	司会者の行動	1	ナレーション形式のため評価不可能、軽微な語調差異のみ

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



6	発言時間配分	2	スポーツニュースへの時間配分が突出しているが通常構成の範囲内
7	質問の非対称性	1	ナレーション形式のため評価不可能、引用方法に重大な非対称性なし
8	連座による信用失墜	1	タスニム通信への注記は事実に基づく情報開示として許容範囲内
9	数字の操作	2	文脈情報の欠落による不完全な情報提供が認められる
10	タイミング	3	冒頭のトランプ発表配置がロシアの先行提案よりも米国主導性を強調
11	映像選択	0	トランスクリプトから視覚的要素の評価不可能
12	情報源の選定	4	政府発表・政府系メディアへの偏重、独立専門家の欠如
13	選択的憤慨	1	全体的に中立的語調が維持されており選択的憤慨は認められない
14	偽りの均衡	2	米国公式発表とイラン政府系メディアの並列提示に軽度の問題
15	アジェンダ設定	4	日本の公共放送として「日本への影響」がアジェンダに上らない構造的な問題

## 結果

- 総合スコア（15基準の平均）：2.5 / 10
- 完全性スコア：3.0 / 10
- 複合スコア：2.7 / 10（基準70%+完全性30%）

## 支配的な操作技術

本放送における最も強力な3つの技術：

1. 省略（スコア6）：日本の公共放送として最も重要な「日本への影響」という視点が複数のトピックにわたって系統的に省略されており、欧州・NATOの反応、法的論点、独立専門家の分析も欠如している。これは放送法第4条が求める多角的な論点提示の観点から最も重大な問題である。
2. 専門家の選定（スコア5）：全編を通じて独立した専門家・研究者・アナリストが一切登場せず、各国政府の公式発表のみに依存した報道となっている。これにより視聴者は政府の公式見解以外の分析を得ることができない。
3. アジェンダ設定（スコア4）：停戦をトランプの外交的成果として自明視し、米イラン交渉を「回答待ち」という受動的枠組みで提示することで、各国際問題の複雑な背景と日本への含意がアジェンダから外れている。

## 放送の核心メッセージ

メッセージ1（内容的）：「トランプ大統領の外交的介入によりロシア・ウクライナ停戦が実現した」

技術：フレーミング・タイミング — 根拠：00:01:08、00:00:00

メッセージ2（個人的）：「各国政府の公式発表が信頼できる情報源である」

技術：情報源の選定・専門家の欠如 — 根拠：全編

メッセージ3（社会的）：「国際問題は日本とは切り離された遠い出来事である」

技術：アジェンダ設定・省略 — 根拠：全編（日本への影響への言及皆無）

## 操作度の分類

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung**  
**Association suisse pour une information équilibrée**  
**Associazione svizzera per un reporting equilibrato**

• 軽度の傾向 (3-4)

理由：本放送の総合スコア2.5は「軽度の傾向」の範囲内に位置する。定時ニュースの速報形式という構造的制約を考慮すると、個別の操作技術は軽微である。しかし、独立専門家の完全な欠如と「日本への影響」という視点の系統的省略は、放送法第4条第2号（政治的公平）および第4号（多角的な論点提示）の観点から問題がある。特に日本の公共放送として、米中首脳会談・米イラン軍事衝突・ロシア・ウクライナ停戦という重大な国際問題が日本に与える影響を全く報道しないことは、視聴者への情報提供義務の観点から改善が必要である。

**結論**

本放送は定時ニュースの速報形式として概ね事実に基づいた報道を行っており、重大な政治的操作や意図的な偏向の証拠は認められない。しかし、放送法第4条が求める「多角的な論点提示」の観点から、独立した専門家の完全な欠如、欧州・NATOの視点の省略、日本の公共放送としての「日本への影響」という視点の系統的省略という三点において改善が必要である。特に、各国政府の公式発表のみに依存した報道構造は、視聴者が国際問題を多角的に理解する機会を制限しており、放送法第4条第4号（多角的な論点提示）との整合性について検討が求められる。速報形式の制約を考慮しても、日本の公共放送としての役割を果たすためには、各国際問題が日本に与える影響への言及と独立専門家の見解の補完が不可欠である。

**ステップ3 — 政党政治的バイアス**

**政党別評価**

政党	スコア (-5~+5)	放送内容対党の政策立場
自民党 (LDP)	0	本放送に自民党の政策立場への直接的言及なし — 政策立場：防衛費増額・日米同盟強化 — 省略
立憲民主党 (CDP)	0	本放送に立憲民主党への言及なし — 政策立場：外交的解決・反軍拡 — 省略
公明党	0	本放送に公明党への言及なし — 政策立場：平和外交 — 省略
維新の会 (Ishin)	0	本放送に維新の会への言及なし — 省略
共産党 (JCP)	0	本放送に共産党への言及なし — 省略
国民民主党 (DPP)	0	本放送に国民民主党への言及なし — 省略

スコア凡例：

+5 = 党の政策立場が正確かつ完全に表現されている

0 = 党・テーマが放送に登場しない

-5 = 党の政策立場が積極的に歪曲または誤って表現されている

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 政党バイアスマとめ

- 最も正確な表現：該当なし（全政党スコア0）
- 最も強い歪曲：該当なし（全政党スコア0）
- 0からの平均偏差：0.0
- 結論：本放送は国内政治・政党政治に関する報道を一切含んでおらず、全ての日本の政党の政策立場への言及が皆無である。これは定時ニュースの国際報道中心という構成によるものであるが、日本政府の立場すら報道されていないことは、日本の公共放送としての役割の観点から問題がある。

## 左右スペクトル上の全体的傾向

傾向スコア：-0.3

（正の値＝左派寄り、負の値＝右派寄り、0.0＝均衡）

分類：均衡（わずかに右派寄り）

理由：本放送は国内政治への言及がほぼ皆無であり、左右スペクトル上の明確な傾向は認められない。わずかに右派寄りと評価する根拠は、トランプ大統領の外交的成果を強調するフレーミング（00:01:08）と、米軍の軍事行動を「封鎖措置」という中立的語彙で表現すること（00:08:47）の二点である。ただし、これらは軽微な傾向であり、統計的に有意な偏向とは言えない。

## ステップ4 — 法的評価（放送法第4条）

### 放送法第4条に基づく評価

放送法第4条は、政治的公平、報道の正確性、および多角的な論点の提示を求めている。

違反1：

規範：放送法第4条第4号（多角的な論点提示）

事実：独立した専門家・研究者・アナリストが全編を通じて一切登場せず、各国政府の公式発表のみに依存した報道となっている。

根拠：タイムスタンプ全編 — 引用：専門家発言なし

評価：放送法第4条第4号が求める「多角的な論点提示」の観点から、政府発表のみに依存した報道は視聴者の多角的理解を妨げる。ただし、定時ニュースの速報形式という構造的制約を考慮すると、直ちに法的違反とは断定できないが、改善が強く求められる。

違反2：

規範：放送法第4条第4号（多角的な論点提示）

事実：ロシア・ウクライナ停戦報道において欧州・NATOの反応が完全に省略されており、米国・ロシア・ウクライナの三者の視点のみが提示されている。

根拠：タイムスタンプ00:00:00～00:02:27 — 引用：欧州・NATO関連の言及なし

評価：停戦提案に対する欧州諸国の懸念は国際的に広く報道されており、その省略は多角的な論点提示の義務に反する可能性がある。

違反3：

規範：放送法第4条第2号（政治的公平）

事実：日本の公共放送として、米中首脳会談・米イラン軍事衝突・ロシア・ウクライナ停戦という重大な国際問題が日本に与える影響および日本政府の立場が全く報道されていない。

根拠：タイムスタンプ全編 — 引用：日本政府の立場への言及なし

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



評価：日本の公共放送として日本の国益・政府立場を報道しないことは、視聴者への情報提供義務の観点から問題があり、放送法第4条の精神に反する可能性がある。

## 放送法第4条総合評価

本放送は定時ニュースの速報形式として概ね事実に基づいた報道を行っており、重大な政治的偏向や意図的な操作の証拠は認められない。しかし、放送法第4条第4号が求める「多角的な論点提示」の観点から、独立した専門家の完全な欠如と欧州・NATOの視点の省略は改善が必要である。特に、日本の公共放送として各国際問題が日本に与える影響と日本政府の立場を全く報道しないことは、放送法第4条の精神に照らして問題がある。これらの問題は定時ニュースの構造的制約によるものである可能性が高く、直ちに放送法違反と断定することは困難であるが、NHKの編集方針として「日本への影響」という視点を系統的に組み込むことが放送法第4条の趣旨に沿った改善策として求められる。

## 情報源の深度確認（引用された全専門機関・NGO・相談機関対象）

### WHO（世界保健機関）

1. 資金調達：国連加盟国の分担金および任意拠出金。日本は主要拠出国。公的・国際機関として資金調達。
2. 委任事項：公衆衛生上のリスク評価・感染症対応はWHOの中核的任務であり、委任事項との適合性は高い。
3. 利益相反：加盟国への政治的配慮の可能性はあるが、感染症報告においては比較的中立。ただし、COVID-19対応における中国への配慮という批判事例が存在する。
4. 信頼性マトリクス（情報源信号機、6次元）：
  - D1 利益相反：+1 — 加盟国への政治的配慮の可能性はあるが基本的に中立
  - D2 個人的リスク：+1 — 機関としての評判リスクあり
  - D3 専門能力：+2 — 感染症・公衆衛生は中核的専門領域
  - D4 見解の一貫性：+1 — 過去の感染症対応と一貫した姿勢
  - D5 感情化対データ：+1 — データに基づく報告
  - D6 情報源レベル：0 — 二次情報（NHKによる要約）
- 合計：+6 → 情報源信号機：緑
5. 反論情報源：独立した感染症疫学者（例：国立感染症研究所、大学研究者）の見解が補完として必要。

重要：「権威ある機関」という社会的帰属は、それ自体が検証されるべき枠組みである。WHOの見解は専門的根拠に基づいており、本件においては適切な情報源として評価されるが、独立した専門家による補完が望ましい。

本分析は放送法第4条準拠の観点から作成された学術的・法的評価文書である。全ての引用はトランスクリプトの原文に基づいており、タイムスタンプにより検証可能である。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)  
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



59. 数字の操作

2/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：統計の選択的または誤解を招く使用。

所見 1：

タイムスタンプ：00:02:43

数字：「少なくとも12カ国の乗客32人が下船した」

欠落する文脈：クルーズ船の総乗客数・乗員数が示されていないため、32人という数字の相対的規模が不明である。

影響：32人という数字が全体の何パーセントを占めるかが不明であり、リスクの規模感が正確に伝わらない。

所見 2：

タイムスタンプ：00:03:44

数字：「感染から発症までの潜伏期間が最大で6週間」

欠落する文脈：最短潜伏期間・平均潜伏期間が示されておらず、「最大6週間」という数字のみが強調されている。

影響：最大値のみの提示により、リスクが過大または過小評価される可能性がある。

まとめ：数字の操作は軽微であり、主に文脈情報の欠落による不完全な情報提供として評価される。意図的な統計操作の証拠は認められない。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 15基準の総合評価

### 個別スコア — 全15基準

番号	基準	Score	評価
1	専門家の選定	5/10	顕著な偏り
2	情報源の選定	4/10	軽微な偏り
3	発言時間配分	2/10	問題なし
4	省略（選択的省略）	6/10	顕著な偏り
6	連座による信用失墜（連座制）	1/10	問題なし
7	タイミング	3/10	軽微な偏り
8	選択的憤慨	1/10	問題なし
9	網羅性	7/10	著しい偏り
10	フレーミング（枠組み設定）	3/10	軽微な偏り
11	言葉の選択と用語	2/10	問題なし
12	司会者の行動	1/10	問題なし
13	質問の非対称性	1/10	問題なし
14	偽りの均衡（偽りの均衡）	2/10	問題なし
15	アジェンダ設定	4/10	軽微な偏り
59	数字の操作	2/10	問題なし

ハードファクトスコア (1-8)

**3.6/10**

軽微な不均衡

ソフトファクトスコア (9-14)

**2.2/10**

問題なし

総合スコア

**2.9/10**

軽微な不均衡

ハードファクトとソフトファクトの平均

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 凡例 — スコアの定義

### 基準ごとの個別スコア (0-10)

<b>0</b>	所見なし	関連する異常は検出されませんでした。
<b>1-2</b>	軽微な所見	バランスに実質的な影響のない軽微な異常。
<b>3-4</b>	軽度～中程度の所見	認識可能な傾向；影響の関連性は低～中程度。
<b>5</b>	影響のある中程度の所見	視聴者の意見形成に影響を与える関連性のある偏り。
<b>6</b>	重要な所見 (閾値)	スコア6以上は「重要な所見」に分類されます。
<b>7</b>	重要な所見	明確で十分に文書化された偏り、明らかな影響の関連性。
<b>8-9</b>	深刻な所見	顕著な偏り；この基準で複数の文書化された個別の所見。
<b>10</b>	最大の深刻度	この基準における体系的で広範な偏り。

### 集約偏差指数 — 解釈範囲

<b>0.0 - 2.5</b>	問題なし	重要なパターンは検出されず；放送は公平性基準を満たしています。
<b>2.6 - 4.0</b>	軽微な偏り	孤立した異常；統計的に認識可能だが許容範囲内。
<b>4.1 - 6.0</b>	重要な偏り	複数の重要な所見；視点の多様性に対する関連性のある損傷。
<b>6.1 - 8.0</b>	公平性基準からの深刻な逸脱。高い逸脱度	放送をまたぐ顕著なパターン；高い影響の関連性。
<b>8.1 - 10</b>	根本的な体系的・一方向性。非常に高いバイアス度	ほぼ全ての基準で最大の深刻度；体系的に一方的な報道。

### 政党バイアス (-5~+5)

<b>-5~-3</b>	強く不利	政党はフレーミング、放送時間、またはプレゼンテーションで著しく過小代表されている。
<b>-2~-1</b>	やや不利	認識可能だが軽微な不利。
<b>0</b>	中立	検出可能な優遇や不利益なし。
<b>+1~+2</b>	やや有利	認識可能だが軽微な優遇。
<b>+3~+5</b>	強く有利	政党はフレーミング、放送時間、またはプレゼンテーションで著しく過大代表されている。

### 法的・方法論的注記

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)  
**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein** für ausgewogene Berichterstattung  
**Association suisse** pour une information équilibrée  
**Associazione svizzera** per un reporting equilibrato

事實認定ではない

提示された結果は、個人、編集チーム、または放送に関する事実認定を構成するものではありません。標準化された運用化の産物であり、個人の責任の認定ではありません。

法的判断ではない

集計された逸脱指数は放送法 第4条に基づく法的評価に代わるものではありません。特定の放送が法的要件に違反しているかどうかの判断は、管轄当局（特に総務省）の専権事項です。

因果関係の証明ではない

統計的相関は、因果関係や編集意図の証明として解釈されるべきではありません。逸脱値は、テーマ選択、ニュース環境、政治的論争性、またはフォーマットの論理によって影響を受ける可能性があります。

意図の判断ではない

分析は放送の観察可能な構造的特性を測定します。スコア7は、重大な偏りが検出されたことを意味し、編集チームがそれを意図したことを意味しません。方法論は動機や戦略的目標について主張しません。

ヒューリスティックな比較ツール

この指数は、数千の放送にわたる比較パターン認識に役立ち、個々のセグメントの正確なメトリック測定ではありません。閾値はヒューリスティックな方向付けに役立ち、厳密な法的資格付けではありません。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)  
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 付録1：国内放送法

### 法的根拠 日本 — NHK

#### 法律

- 放送法（昭和25年法律第132号、最終改正 2024年）
- NHK受信規約
- 電波法

#### 放送法 第4条（編集基準）

放送事業者は、国内放送及び内外放送（以下「国内放送等」という。）の放送番組の編集に当たっては、次の各号の定めるところによらなければならない。

- 公安及び善良な風俗を害しないこと。
- 政治的に公平であること。
- 報道は事実をまげないですること。
- 意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。

出典：e-Gov法令検索（laws.e-gov.go.jp/law/325AC0000000132）

#### バイアス分析の四つの柱

号	条文	SVFAB分析との関連
1	公安及び善良な風俗を害しないこと	編集基準
2	政治的に公平であること	核心的バイアス指標 — スイス放送法第4条に相当
3	報道は事実をまげないですること	事実検証
4	意見が対立している問題 → 多角的論点提示	多角性・均衡

#### スイスとの比較

項目	スイス（SRG）	日本（NHK）
法律	放送通信法 第4条	放送法 第4条
独立規制機関	UBI（拘束力あり）	BPO（拘束力なし）
国家規制機関	BAKOM/UVEK	総務省
執行	UBIは苦情を認容可能、BAKOMは制裁可能	BPOは勧告のみ、総務省は行政指導
財源	Serafe受信料	NHK受信料（月額約1,100円）
自主規制	中程度（UBIは独立）	脆弱（BPOはNHKが共同出資）

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 監督機関

### 総務省

- 放送行政を所管する国家機関
- 放送免許の付与
- 行政指導の発出権限
- NHK予算・事業計画・受信料の承認
- 理論上は免許取消権限を保有
- 直近の措置：2024年9月、NHKラジオ国際放送尖閣事件に対する行政指導

### BPO（放送倫理・番組向上機構）

- 2003年設立、非政府、自主規制機関
- NHKとJBA（日本民間放送連盟）が共同運営
- 三委員会：放送倫理検証、放送人権、青少年
- 決定に法的拘束力なし — 自主的遵守に依拠
- NHKがBPOを共同出資 — 構造的独立性に限界

### NHKに対する主なBPO決定

年	事案	判断
2015	クローズアップ現代 — やらせ疑惑	重大な放送倫理違反
2022	BS五輪ドキュメンタリー（河瀬直美）	重大な放送倫理違反 — 虚偽字幕
2023	ニュースウオッチ9 — COVID-19報道	放送倫理違反 — ワクチン被害者遺族の誤報

### 国際比較参照

- RSF 報道自由度指数：日本 2024年 70位（スイス9位、ノルウェー1位と大きな差）
- Freedom House：日本は「自由」に分類、しかしメディアの自由は圧力下（記者クラブ、政府近接性）

### 構造的背景

NHKは世界最大の公共放送機関（予算約7,200億円 / 約45億ユーロ）。経営委員会（12名、首相が任命、国会同意）を通じた構造的な政府近接性がある。記者クラブ制度が政府情報へのアクセスをメディア各社に限定し、ジャーナリストと政府の距離を縮めている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 付録2 : 科学的参考文献

### 参考文献

- Bennett, W. L. (1990). Toward a theory of press-state relations in the United States. *Journal of Communication*, 40(2), 103–125.
- Berelson, B. (1952). *Content analysis in communication research*. Free Press.
- Entman, R. M. (1993). Framing: Toward clarification of a fractured paradigm. *Journal of Communication*, 43(4), 51–58.
- fög – Forschungszentrum Öffentlichkeit und Gesellschaft (2024). *Jahrbuch Qualität der Medien 2024*. Schwabe.
- Gilardi, F., Alizadeh, M. & Kubli, M. (2023). ChatGPT outperforms crowd workers for text-annotation tasks. *PNAS*, 120(30).
- Iyengar, S. & Kinder, D. R. (1987). *News that matters: Television and American opinion*. University of Chicago Press.
- Jolly, S. et al. (2022). Chapel Hill Expert Survey trend file, 1999–2019. *Electoral Studies*, 75, 102420.
- Krippendorff, K. (2004). *Content analysis: An introduction to its methodology* (2nd ed.). Sage.
- McCombs, M. E. & Shaw, D. L. (1972). The agenda-setting function of mass media. *Public Opinion Quarterly*, 36(2), 176–187.
- Shoemaker, P. J. & Vos, T. P. (2009). *Gatekeeping theory*. Routledge.
- SVFAB (2026). *Methodenbericht v4.1: Zählbare Kriterien und Multi-Modell-Kreuzvalidierung*.
- Törnberg, P. (2023). ChatGPT-4 outperforms experts and crowd workers in annotating political Twitter messages. arXiv:2304.06588.

### SVFAB Working Papers

- Schläpfer, D. (2026). Systematic AI-Assisted Analysis of Public Broadcaster Impartiality: A Scalable Methodological Framework for Measuring Structural Bias in Public Service Media. [SSRN 6688478](#)
- Schläpfer, D. (2026). Measuring Editorial Noise: A Retrospective Suppression Index for Public Broadcasting Content Analysis. [SSRN 6733280](#)
- Schläpfer, D. (2026). Source Traffic Light: A Six-Dimensional Credibility Framework for Systematic Source Assessment in Public Service Media. [SSRN 6733880](#)

David Schläpfer — ORCID: 0009-0000-5671-9266

SVFAB — スイス公平報道協会 | 私書箱、8021 チューリッヒ 1 | [www.svfab.ch](http://www.svfab.ch) | [kontakt@svfab.ch](mailto:kontakt@svfab.ch) | 方法論レポート 2026年3月 | コンバーター 3.4 (2026-05-20)

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)  
**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein** für ausgewogene Berichterstattung  
**Association suisse** pour une information équilibrée  
**Associazione svizzera** per un reporting equilibrato

## SVFAB 보고서 및 회원 가입

SVFAB.ch에서는 상세한 보고서를 받아보실 수 있을 뿐 아니라, 모든 선적 건에 대한 보고서 생성 서비스도 이용하실 수 있습니다(유료 서비스).

저희는 지속 가능한 활동을 위해 회원 가입과 기부에 의존하고 있습니다.

### 연락처 및 추가 정보:

[www.SVFAB.ch](http://www.SVFAB.ch) | [Kontakt@SVFAB.ch](mailto:Kontakt@SVFAB.ch)

**은행 계좌:** PostFinance – POFICHBE

**IBAN:** CH32 0900 0000 1675 6251 1

**수취인:** SVFAB, P.O.Box CH-8021 Zurich 1

**회장:** 다비드 Schlaepfer / Schlaepfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)  
**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein** für ausgewogene Berichterstattung  
**Association suisse** pour une information équilibrée  
**Associazione svizzera** per un reporting equilibrato

SVFAB에서 다음 책들을 구입하실 수 있습니다.

주문은 [www.svfab.ch](http://www.svfab.ch) 또는 [kontakt@svfab.ch](mailto:kontakt@svfab.ch)를 통해 하실 수 있습니다.



스위스의 '보도 자료 절반 공개' 정책에 대한 대응으로 불균형적인 보도가 나타나고 있습니다. 이 책은 취재진과 정보원 선정부터 시작하여 조작 기법을 상세히 설명합니다. 이어 누락, 프레임 설정, 시간적 프레임 설정, 연좌제, 감정적 이용, 맥락 제거 등 15가지 원칙을 다양한 사례와 함께 제시합니다. 또한, 우리 자신이 이러한 기법을 어떻게 활용하는지 보여줌으로써 이해뿐 아니라 공감까지 이끌어냅니다.

선택 사양으로 트럼프 카드가 함께 제공됩니다.

오디오북으로도 이용 가능합니다.



인터뷰는 대화가 아닙니다. 누군가 대본을 써놓은 무대입니다.

이 점을 이해하지 못하는 사람은 언론에 먹칠을 하는 셈입니다. 좋은 인용구가 잘못 편집되고, 정확한 발언이 잘못된 맥락에서 전달되며, 솔직한 답변이 자백처럼 포장되는 사례가 발생합니다.

이 책은 언론 비평서가 아닙니다. 마이크 앞에 선 모든 사람을 위한 실용적인 도구 상자입니다. 7개의 장으로 구성되어 있으며, 7가지 도구를 제공합니다. 인터뷰의 본질, 가장 흔한 7가지 함정, 세 가지 기본 원칙(앵커링, 프레임링, 경계 설정), 1시간 만에 인터뷰 준비하는 방법, 몸짓과 목소리 사용법, 인터뷰가 잘못될 경우 대처법, 그리고 인터뷰 후 중요한 점까지 다룹니다.

정치인, 활동가, 기업가, 내부고발자 등 대중의 시선을 받는 모든 사람이 언론의 흐름을 이해하고, 더 이상 수동적으로 따라가지 않고 주도적으로 이끌어갈 수 있도록 돕습니다.

A5 사이즈로 휴대가 간편합니다. 준비, 참고, 후속 조치 및 어려움에 직면했을 때를 위해.

**회장:** 다비드 Schlaepfer / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein** für ausgewogene Berichterstattung  
**Association suisse** pour une information équilibrée  
**Associazione svizzera** per un reporting equilibrato



당신은 세상을 제대로 본다고 생각하지만, 사실은 누군가가 씌운 틀을 보고 있는 것입니다. 프레임은 세상에서 가장 오래되고 정교한 조작 기술입니다. 사실 자체를 바꾸는 것이 아니라, 우리가 사실을 어떻게 받아들이고, 어떻게 느끼고, 무엇을 믿고, 어떻게 결정하는지를 바꿉니다. 그리고 이 기술은 효과적입니다. 왜냐하면 우리 모두가 매일 무의식적으로, 당신도 참여하고 있기 때문입니다. 이 책은 딱딱한 교과서가 아닙니다. 재미있고, 직접적이며, 실생활 예시로 가득한 워크북입니다. 다른 사람들이 당신을 어떻게 프레임에 담는지 배우는 것뿐만 아니라, 스스로를 어떻게 프레임에 담는지, 그리고 그것을 의식적이고 공정하게 사용하는 방법을 배우게 될 것입니다.

프레임을 이해하는 사람들은 세상을 더 명확하게 보고, 뉴스를 다른 시각으로 바라보며, 더 자신감 있게 대화를 이끌어 나가고, 다른 사람이 선택한 프레임에 쉽게 휘둘리지 않게 됩니다.

정치, 미디어, 그리고 일상생활에서 가져온 다양한 연습 문제와 구체적인 예시, 그리고 중간중간 웃음까지 더해져 있습니다.

**스타일 있게 프레임을 활용하세요. 프레임이 모든 것을 바꾸기 때문입니다.**

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)  
**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1